

# 欧州主要国での国内移動制限措置の状況

国	概要
ドイツ	2020年3月23日から通勤、買い物など生活上必須の外出以外の外出制限など実施。段階的緩和の後、社会的接触制限（1.5mの距離を保つなど）は継続。感染者数再増加のため、同年11月2日より不要不急の私的旅行、同年12月1日より出張全般の自粛を要請。 2021年4月30日には州ごとの規制から全国統一ルールへと移行し夜間外出を禁止。感染状況改善に伴い同年6月30日で同ルールを終了、州ごとの感染状況に応じた規制に移行。同年11月24日より全国で公共交通機関の利用と職場へのアクセスにはワクチン接種証明書（※）、回復証明書、陰性証明書のいずれかの提示を義務付け。2022年3月20日より職場へのアクセスにこれら証明書提示不要に。4月3日より公共交通機関利用の際の全国一律の証明書提示義務は終了。※日本の市区町村等で発行するワクチン接種証明書の有効性は州により異なる。
フランス	2020年3月17日に開始された国内移動制限措置を同年6月2日より解除。感染者数再増加のため、同年8月以降、各地域における対策強化の動き。同年10月30日より生活上必須でない外出を制限。 同年12月15日より移動制限を解除し、夜間の外出を禁止。2021年2月26日より特別警戒地区に指定された一部の県では週末のみ外出制限を実施。同年3月20日よりパリ市を含むイル・ド・フランス地域圏の全県など16県で外出制限を実施。同年4月3日よりフランス全土（海外県を除く）で外出制限を実施。同年5月3日より日中の外出制限、同年6月20日より夜間の外出制限を解除。
イタリア	非常事態宣言は2021年3月31日をもって終了。4月1～30日まで、基本グリーンパス（接種、飲性、回復のいずれかを証明）およびスーパーグリーンパス（接種または回復の証明のみを対象）の提示義務が大きく緩和された。スーパーグリーンパスが必要とされていたレストラン等での飲食については、基本グリーンパスの提示のみで可能となった。また、郵便局、銀行などは基本グリーンパスの所持が求められていたが不要となった。交通機関は、飛行機や長距離移動列車、フェリーなど利用時のみ、基本グリーンパスの提示が求められる。一方、スポーツ施設、屋内イベント等ではスーパーグリーンパスが引き続き必要。なおイタリアでは、感染者数再増加のため、2020年11月6日以降段階的に事業所閉鎖や社会生活に際しての上述のパスの提示義務付け措置が講じられていた。
スペイン	2020年3月14日より移動禁止措置を実施。同年5月11日より、地域ごとに3段階で緩和を開始。同年6月21日より国内の移動制限を解除。 感染者数再増加のため、同年10月25日よりカナリア州を除き夜間の外出を禁止。2021年5月9日より一部地域を除き夜間の外出禁止を解除。感染者数再増加のため、同年7月12日より一部地域で夜間外出禁止など制限強化の動き。
オランダ	2020年3月23日より通勤や食料品の購入などの外出を除き自宅待機を要請。同年6月1日より外出制限措置を解除。 感染者数再増加のため、同年10月14日より不要不急の移動および旅行の自粛を要請。2021年1月23日より夜間の外出を禁止。同年4月28日より夜間の外出禁止を解除。 感染拡大のため、同年11月28日より夜間のロックダウン、同年12月19日よりロックダウンを実施。2022年1月15日より一部緩和され、同年1月26日より、事実上のロックダウン解除に。
ベルギー	2020年3月18日より開始された外出制限措置を同年5月4日に解除。同8日より日帰り・数日の国内旅行が可能に。 感染者数再増加のため、同年10月19日より夜間の外出を禁止。2021年5月8日より夜間の外出禁止を解除。
オーストリア	2020年3月16日より開始された外出制限措置を同年5月1日に解除。社会的距離の確保が必要。感染者数再増加のため、同年11月17日より生活上必須でない場合を除き外出を禁止。 同年12月7日より日中の移動制限を解除し、夜間の外出禁止へと緩和。感染状況悪化を受け、同26日より生活上必須でない場合を除き外出を禁止。 2021年2月8日より日中の移動制限を解除し、夜間の外出禁止へと緩和。同年3月以降、一部の市・地区で、市外・地区外へ移動する者に対し、72時間以内のPCR検査または48時間以内の抗原検査による陰性証明書の提示を義務付け。同年4月1日よりウィーン市含む東部地域で生活上必須でない場合を除き外出を禁止。同年5月3日より日中の移動制限を解除し、夜間の外出禁止へと緩和。同19日より夜間の外出禁止を解除。感染再拡大に伴い、同年11月15日よりワクチン未接種者に対するロックダウンを全国で実施。2G証明（ワクチン接種証明書または回復証明）を保持していない者（12歳未満の子供と妊婦は対象外）が自宅を離れる場合の目的は、通勤や生活必需品などの購入、行政機関や保健関連施設の訪問、散歩などに限定。同年11月22日から、全国民を対象にしたロックダウンを実施。同年12月11日にロックダウン解除。ただし、ワクチン未接種者へのロックダウンは継続。2022年1月31日で未接種者へのロックダウンを終了。
ポーランド	2020年3月25日から同年4月19日まで生活、健康、職業上の目的以外外出が禁止。同年4月20日より外出制限を解除。 同年3月16日に禁止された国内旅客機の発着は同年6月1日より再開。感染者数再増加のため、同年8月以降、各地域における対策強化の動き。 同年10月24日より全土で規制強化。2021年2月1日より70歳以上の高齢者に対する外出自粛要請を除き移動制限を解除、同年6月6日より70歳以上の高齢者に対する外出自粛要請を解除。
チェコ	2020年3月16日より開始された外出制限を同年5月18日に解除。 感染者数再増加のため、同年10月22日より通勤や食料品の購入等を除く移動を制限、同28日より夜間の外出を禁止。 同年12月3日より夜間外出禁止を含む移動制限を解除。感染状況悪化を受け、同18日より通勤や食料品の購入等を除く移動および夜間の外出を禁止。 2021年3月1日より通勤等を除いて県境を越える移動を全土で禁止。県内移動についても通勤や食料品の購入等を除いて終日禁止。4月12日より県境を越える移動制限と夜間外出禁止を解除。
ハンガリー	2020年3月28日より開始された外出制限を同年5月4日より一部地域で解除。同年5月14日にベスト県、同年5月18日にブダペスト市も解除。 感染者数再増加のため、同年11月3日より夜間の外出を禁止。2021年4月7日より段階的に行動制限措置を緩和し、同年5月23日より夜間外出禁止を解除。
ルーマニア	2020年3月25日より通勤、通院、生活必需品調達などを除く移動を禁止。同年5月15日より居住市町村内の移動、同年6月1日より市町村外の移動が自由化。 感染者数再増加のため、同年11月9日より夜間の外出を禁止したが、2021年5月15日から解除。 感染者数再増加のため、同年9月30日よりブカレスト市で、10月25日より全土で夜間の外出を禁止。ただし、ワクチン接種完了者と回復者は免除。同年12月9日より夜間外出禁止を解除。
スイス	2020年3月16日から実施された行動制限措置が同年6月22日より緩和。対人距離1.5メートルなどが継続。 感染者数再増加のため、同年7月以降、各地域に対策強化の動き。同年10月19日以降、感染者数急増のため、全土で対策を強化。2021年3月1日より段階的に行動制限措置を緩和。
英国	2020年3月23日から自宅待機を指示。同年5月13日より外出規制を部分的に緩和。 感染者数再増加のため、イングランドでは2021年1月5日より必要不可欠な場合を除き外出を禁止。同年3月29日より緩和。2022年2月24日より陽性者の隔離義務など国内規制を撤廃。

(注) 最新状況確認日：2022年4月13日(ドイツ、イタリア)、2月24日(英国)、1日(オランダ、オーストリア)、2021年12月9日(ルーマニア)、11月13日(スペイン)、6月17日(フランス)、10日(ポーランド)、5月25日(ハンガリー)、6日(ベルギー)、4月8日(チェコ)、3月4日(スイス)